

ユーイング肉腫の診療やケアに携わる皆様へ：

ユーイング肉腫の腫瘍マーカー候補、ProGRP について

静岡がんセンターではこの度、骨や軟部組織に発生するユーイング肉腫患者の約半数の症例で、日常診療で広く用いられている肺小細胞癌の腫瘍マーカーProGRP が異常高値を示すことを発見し、” Yamaguchi K, et al: ProGRP is a possible tumor marker for patients with Ewing sarcoma. Biomedical Research (Tokyo) (2015) 36 (4); 273-277.” として発表しました。この論文は以下のウェブサイトにおいて、無料で公開されています。

1. PubMed(論文抄録): <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/26299486>
2. DOI (Digital Object Identifier、デジタルオブジェクト識別子) :
<http://doi.org/10.2220/biomedres.36.273>
3. PDFファイル (J-stage):
http://www.jstage.jst.go.jp/article/biomedres/36/4/36_273/_pdf

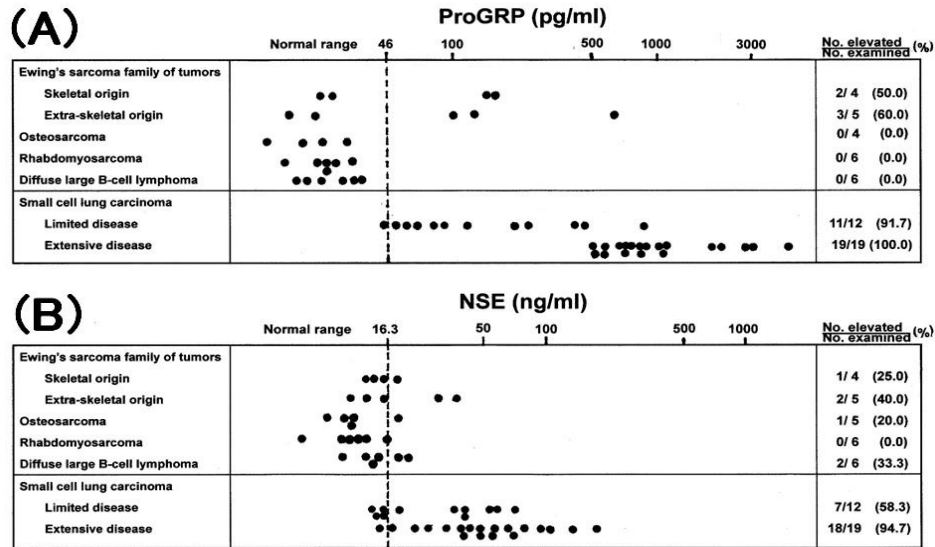
ProGRP がユーイング肉腫の腫瘍マーカーとして確立されるためには、さらに、より多くの症例についての分析が必要です。しかし、ユーイング肉腫は、症例数が少ない希少がんでもあり、臨床研究の完成には時間がかかります。一方、ProGRP は、肺小細胞癌の腫瘍マーカーとしてすべての医療機関で測定可能です。そこで、現在、ユーイング肉腫を患っている方々の臨床に役立てていただくため、これまでの成果を、医療スタッフや患者会の皆様にお知らせすることに致しました。

今回の研究成果から、ProGRP 測定は、血中レベルが高値を呈する一部のユーイング肉腫の患者さんに対して以下のような利点を生むと考えられます。また、測定結果の判定に注意を要する点も以下に記載しました。

1. ユーイング肉腫の患者さんの半数以上では、腫瘍が ProGRP を産生し、血中 ProGRP が高値を呈する。その値は、肺小細胞癌の限局型とほぼ同等である。従って、ProGRP はユーイング肉腫の腫瘍マーカーとして役立つ可能性が高い。たとえば、骨や軟部組織に発生した腫瘍で血中 ProGRP が高値であればユーイング肉腫が強く疑われ、診断確定に役立てられる。一方、ProGRP が正常範囲内の場合は、ユーイング肉腫の場合も、そうでない場合もあり、診療には役立たない。
2. 今後、さらなるデータの集積が必要だが、血中 ProGRP が高値を呈するユーイング肉腫の患者さんでは、継続的な血中 ProGRP 測定によって、治療効果の判定や再発の早期発見に役立つことが期待される。

- 過去の研究において、5歳以下の小児では、健常児も ProGRP が高値を呈することが明らかにされており、評価には注意を要する。
- これまで、胸部腫瘍で ProGRP が高値を呈した場合、肺小細胞癌の可能性が高いと考えてきたが、今後は、胸部原発のユーイング肉腫を考慮せねばならない。

血中 ProGRP の測定結果。(A) ProGRP、(B) NSE



なお、ProGRP は、診療報酬点数表では「悪性腫瘍の患者であることが強く疑われる者」に対して検査を行った場合、保険算定できると記載されています。一方、一部の保険診療に関する書籍では、適応疾患は肺癌（小細胞肺癌、一部の肺大細胞癌）と明記されており、ユーイング肉腫の患者さんに対して ProGRP 検査を行った場合、個々の診療報酬支払基金によっては承認されない可能性が否定できません。必要に応じて、試薬メーカー、検査センター、診療報酬支払基金などにお問い合わせください。

山口 建

静岡県立静岡がんセンター総長

〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007

電話： 055-989-5230 (直通)

ファックス： 055-989-5793

電子メール： k.yamaguchi@scchr.jp

Website： <http://www.scchr.jp/english/index.html>

(利益相反について： 論文の筆頭著者である山口は、ProGRP 測定試薬の開発者として、開発企業である先端生命科学研究所より特許収入を受けていることを申し添えます。)